

第15期(2020年3月期)決算説明会

2020年6月2日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

| | |
|-------------------|----|
| I 決算のポイント、主なトピックス | 1 |
| II マーケットの動向 | 10 |
| III 決算概要(連結) | 15 |
| IV 経営概況 | 21 |

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2020年3月期 連結業績の概況

(%表示は対前期増減率)

| 売上高 | 営業利益 | 経常利益 |
|---------------|--------------|--------------|
| 931億円 (+8.9%) | 50億円 (△2.6%) | 45億円 (△5.2%) |

➤ 国内、海外の状況

| | | | |
|----|------|---|---------|
| 国内 | 増収減益 | + | 国内シェア拡大 |
| 海外 | 増収増益 | + | 業容拡大中 |

➤ 部門別売上高

コンクリートパイル
前期比 +16.1% の増収

場所打杭
同 △18.3% の減収

鋼管杭
同 △17.8% の減収

I-2 5か年計画の進捗状況

日本国内とアセアン地域において最高の技術力と最大の基礎建設能力を有するグループを目指す。

1. 新5か年計画初年度

(億円)

| | 新5か年計画 | |
|------|-----------|----------|
| | 2019年度 実績 | 2023年度計画 |
| 売上高 | 931 | 1,100 |
| 営業利益 | 50 | 65 |

<計画骨子(抜粋)>

| 国内 | 海外 |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 売上高：800億円 | 売上高：300億円 |
| コンクリートパイル・場所打ち杭・鋼管杭全部 門でのトップを目指す | 国内外子会社間・海外子会社間 連携強化を目指す |

- 売上 931億円、過去最高の売上高を達成。
- 利益 競争激化、積極的な設備・研究開発投資による償却費・研究開発費負担増から減益。

I-3 5か年計画の進捗状況

2. 国内／海外の状況

国内

- 売上高：引き続き大型工事が増加し、増収。コンクリートパイルシェアトップを達成。
- 営業利益：競争激化と生産能力・施工能力増強投資、研究開発投資による費用負担増加から減益。
新工法の積極活用により利益率のアップを図る。

海外

- 売上高：積極的な事業展開とFCM社連結寄与により増収。
- 営業利益：政府系案件の着工が滞り、競争が激化し利益率が低下したが、FCM社連結寄与もあり増益。
プレボーリング工法普及を進め、材工受注による利益率の改善を図る。

I-4 主なトピックス

国内展開

大型工事増加／コンクリートパイルシェアトップ

新工法＜MAGNUM工法＞業績寄与大

施工現場におけるICT工事管理の本格展開

継手メーカーとの資本提携（2020年5月基本合意）

海外展開

ベトナム
PV社

FCM連結寄与／電力事業関連基礎工事に注力

ミャンマー
VJP社

生産体制再整備

資金調達

コミットメントライン設定

I-5 主なトピックス

国内展開

大型工事増加／コンクリートパイルシェアトップ

➤ 大型工事案件推移

| 期 | 2018/3期 | 2019/3期 | 2020/3期 |
|--------|---------|---------|---------|
| 大型工事割合 | 57% | 64% | 65% |

➤ コンクリートパイルシェア

| | |
|-------|-------|
| 完工シェア | 27.5% |
| 出荷シェア | 26.7% |

⇒共に年間トップ

新工法<MAGNUM工法>業績寄与大

- 「MAGNUM工法」の特徴
- ・大きな先端支持力の確保
 - ・施工効率の向上

I-6 主なトピックス

国内展開

施工現場におけるICT工事管理の本格展開

- タブレット活用による施工現場での工事管理・各種報告書作成等を効率化
⇒ 業界標準を展望

継手メーカーとの資本提携（2020年5月基本合意）

- 継手金具メーカー・シントク工業(株)との資本提携へ
⇒ 国内業界全体のサプライチェーンの安定的確保／品質向上
アセアン地域への良質な部品供給体制

I-7 主なトピックス

海外展開

ベトナム
PV社

FCM連結寄与／電力事業関連基礎工事に注力

- FCM買収効果の年間業績寄与、ベトナム北部の基盤強化
- ベトナム電力総公社関連の風力発電事業へ参画
再生可能エネルギー分野における基礎工事関連事業の展開

ミャンマー
VJP社

生産体制再整備

- VJP社ティラワ工場
生産体制再整備し、受注強化を目指す

I-8 主なトピックス

資金調達

コミットメントライン設定

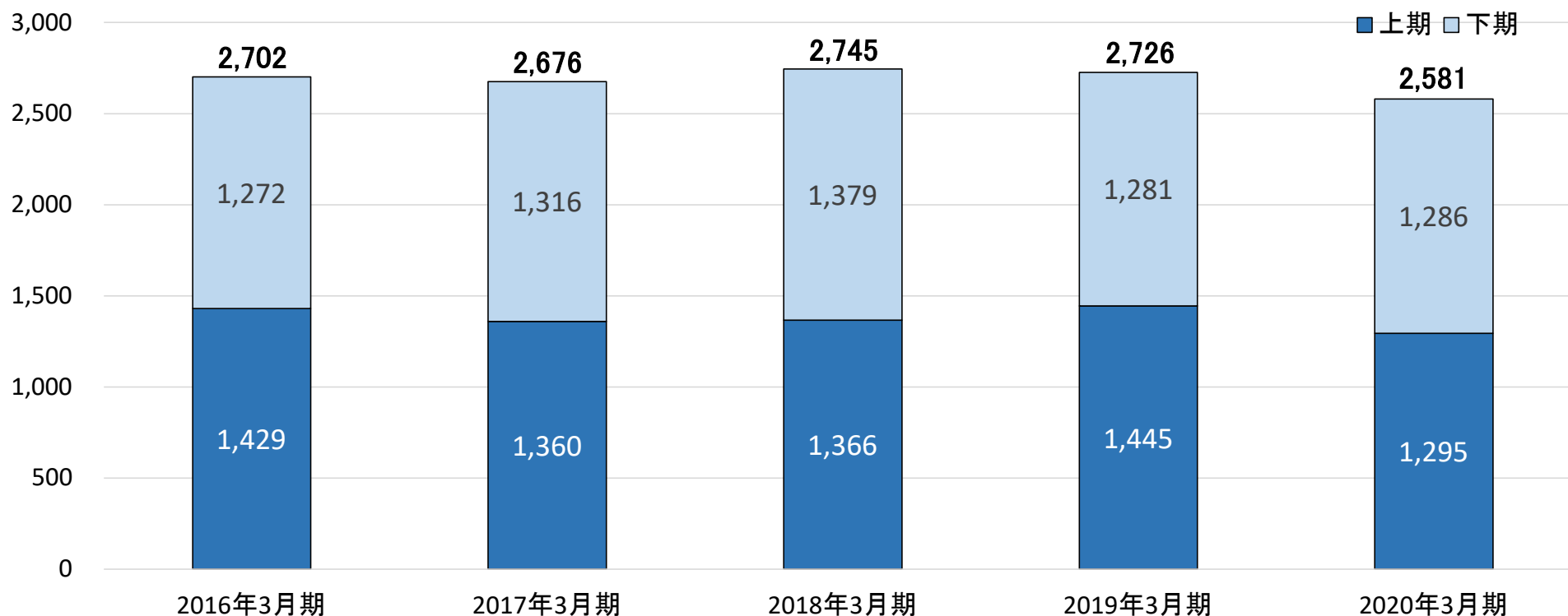
- コミットメントライン設定：40億円
- ・今後の事業展開に備えた資金調達手段の確保

Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

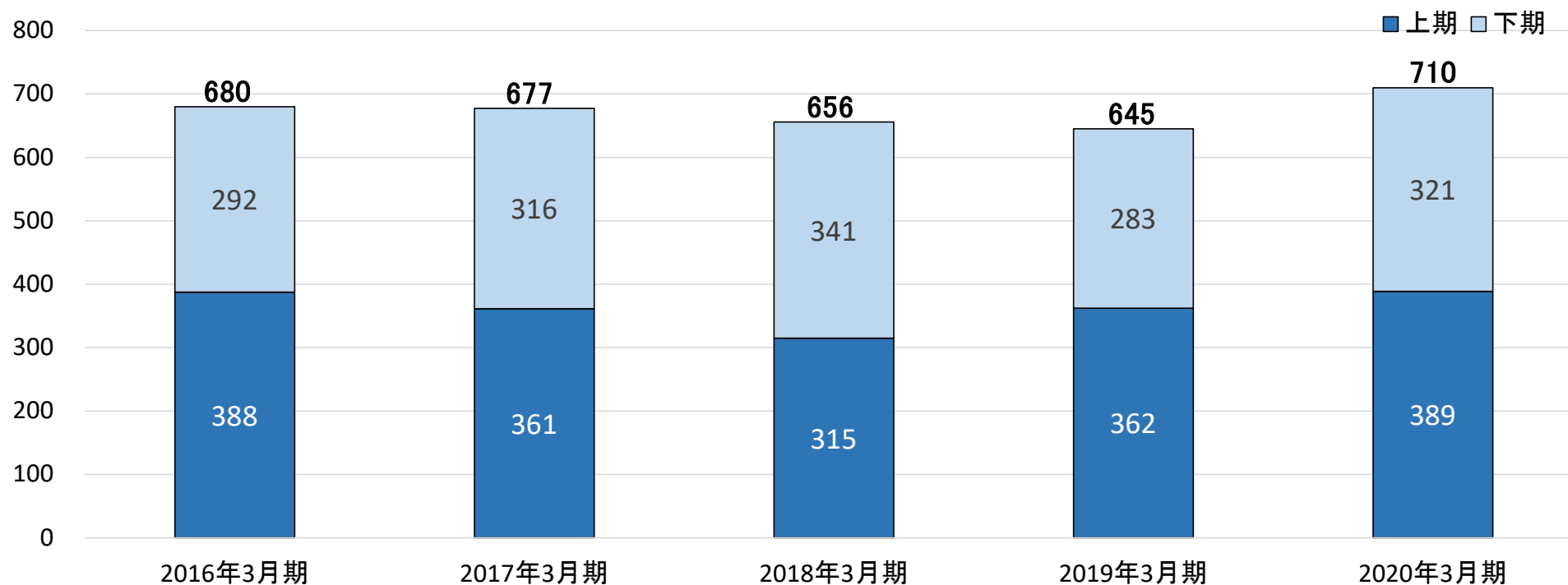
(出典)一般社団法人 コンクリートパイロ・ポール協会資料



➤ 2019年度は官需・民需ともに減少し、前期比 5.3%減少

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



➤ 2019年度の当社完工量は前期比 10.0%増加

Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

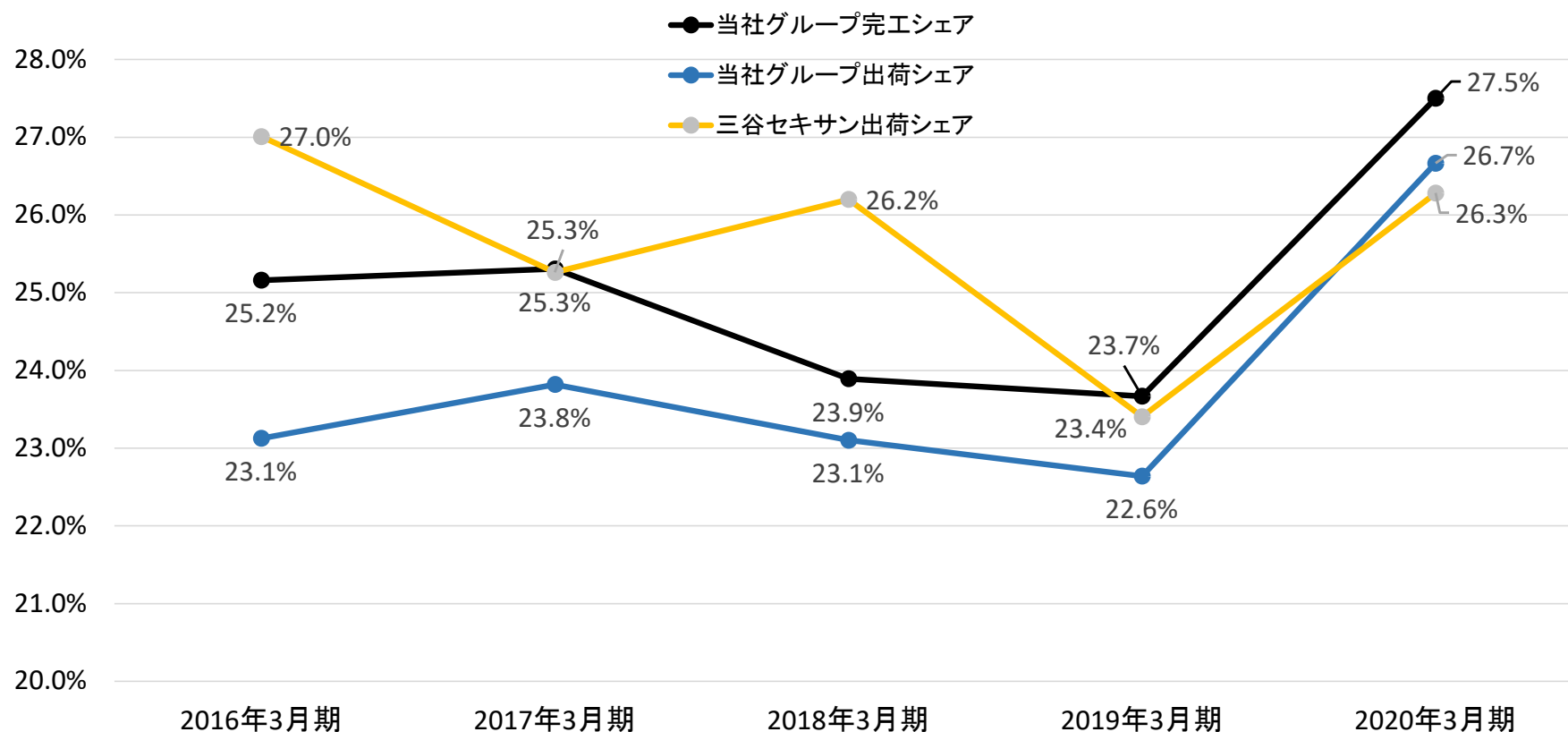
(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料

| | | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 当社グループ | 完工量(千t) | 680 | 677 | 656 | 645 | 710 |
| | シェア | 25.2% | 25.3% | 23.9% | 23.7% | 27.5% |
| | 出荷量(千t) | 625 | 637 | 634 | 617 | 688 |
| | シェア | 23.1% | 23.8% | 23.1% | 22.6% | 26.7% |
| 三谷セキサン | 出荷量(千t) | 730 | 676 | 719 | 638 | 678 |
| | シェア | 27.0% | 25.3% | 26.2% | 23.4% | 26.3% |
| 日本コンクリート工業 | 出荷量(千t) | 217 | 213 | 257 | 333 | 241 |
| | シェア | 8.0% | 8.0% | 9.3% | 12.2% | 9.3% |
| 日本ヒューム | 出荷量(千t) | 251 | 249 | 289 | 252 | 247 |
| | シェア | 9.3% | 9.3% | 10.5% | 9.3% | 9.6% |
| トーヨーアサノ | 出荷量(千t) | 159 | 170 | 179 | 175 | 140 |
| | シェア | 5.9% | 6.3% | 6.5% | 6.4% | 5.4% |
| 業界全体 | 出荷量(千t) | 2,702 | 2,676 | 2,745 | 2,725 | 2,581 |
| | シェア | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

➤ 国内完工シェア・出荷シェアともにトップ

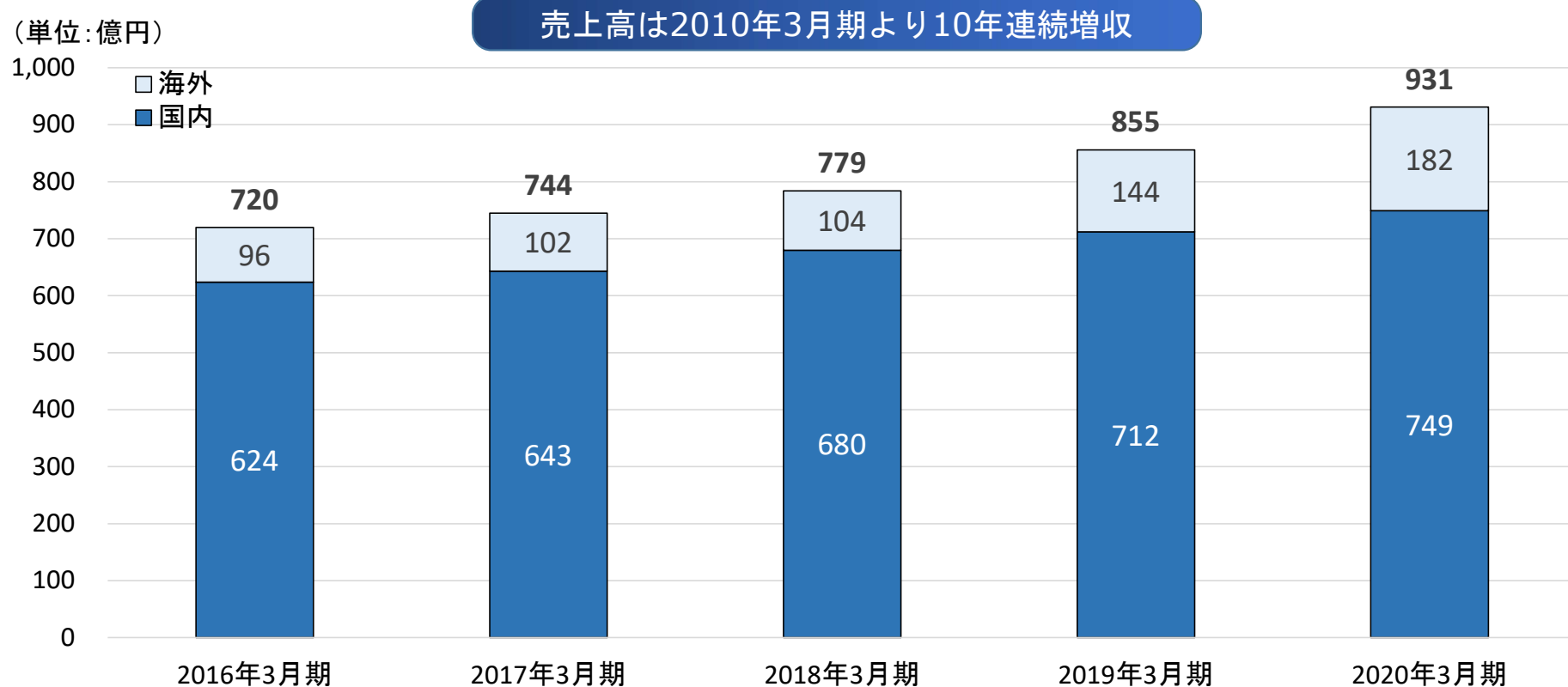
Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



Ⅲ 決算概要(連結)

Ⅲ-1 売上高の推移

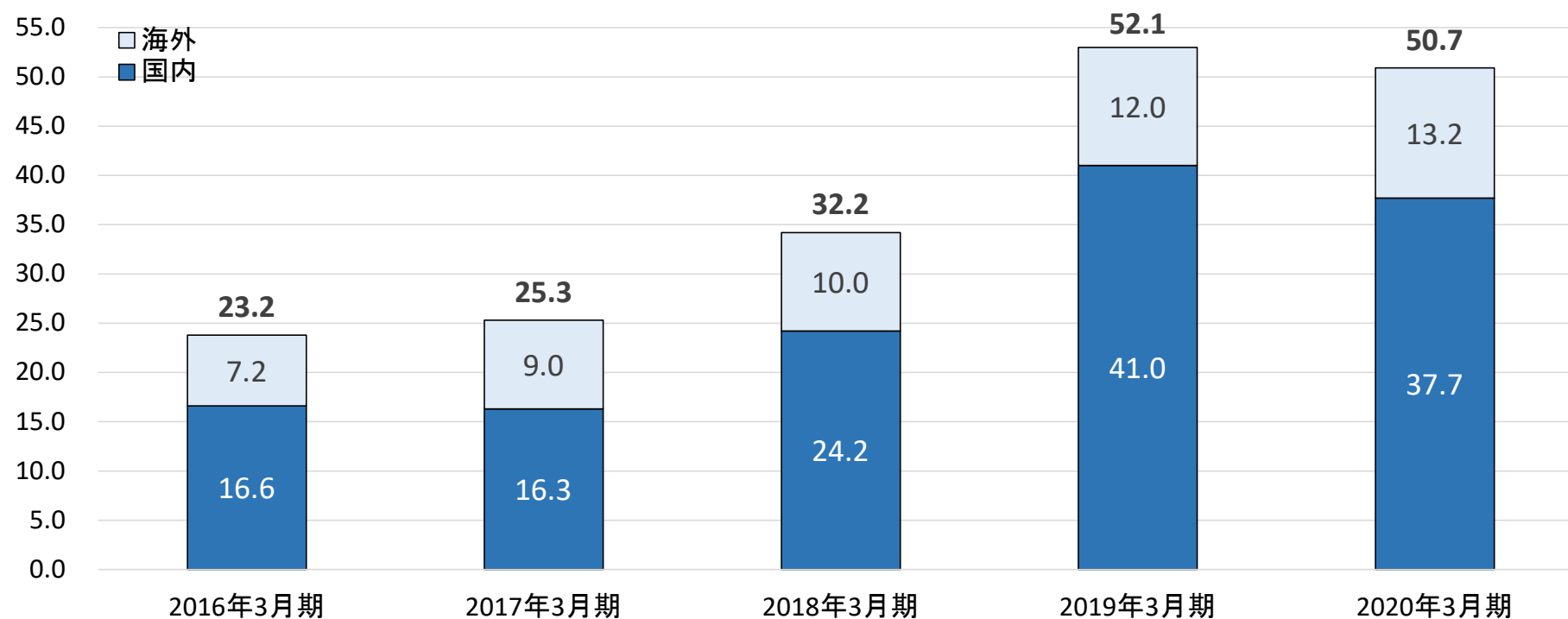


➤売上高は前期比 8.9%の増収

(注)売上高の国内・海外内訳は連結調整前

Ⅲ-2 営業利益の推移

(単位:億円)

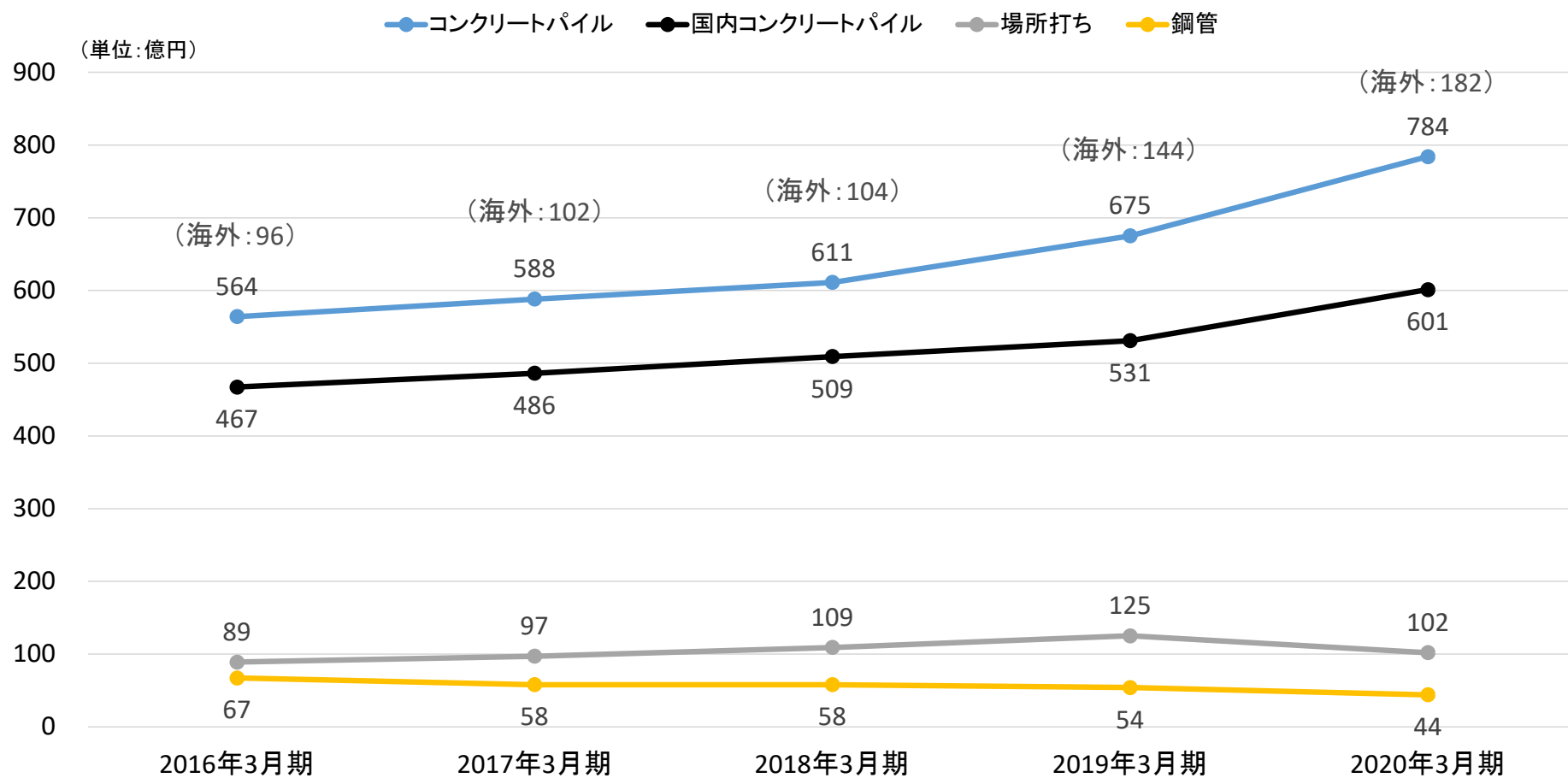


➤ 営業利益は前期比 2.6%の減益

(注) 営業利益の国内・海外内訳は連結調整前

➤ 前期対比減益ながら、高水準の営業利益を確保

Ⅲ-3 部門別売上高の推移



Ⅲ-4 損益計算書

| (単位:百万円) | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 (予想) |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|------------------|
| 売上高 | 72,078 | 74,422 | 77,994 | 85,566 | 93,175 | 87,000 |
| 売上総利益 | 10,097 | 10,463 | 11,336 | 13,593 | 13,860 | — |
| 営業利益 | 2,324 | 2,534 | 3,223 | 5,212 | 5,076 | 4,200 |
| 経常利益 | 2,235 | 2,382 | 2,997 | 4,847 | 4,596 | 3,800 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,432 | 1,629 | 1,911 | 3,164 | 2,712 | 2,350 |
| 売上高総利益率 | 14.0% | 14.1% | 14.5% | 15.9% | 14.9% | — |
| 自己資本当期純利益率 | 5.8% | 6.3% | 7.0% | 10.5% | 8.1% | — |

➤2021年3月期はコロナ禍の影響を見込み、減収減益を予想

Ⅲ-5 キャッシュ・フロー計算書

| (単位:百万円) | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 870 | 2,296 | 1,750 | 3,195 | 6,891 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,902 | △ 2,502 | △ 3,001 | △ 3,164 | △ 2,549 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,670 | △ 1,177 | 2,014 | 1,937 | △ 3,636 |
| IV. 現金及び現金同等物の期末残高 | 10,301 | 8,759 | 9,424 | 11,330 | 11,957 |

IV 経営概況

IV-1 経営概況

1. 市場動向についての当社の考え方
新型コロナウイルス感染拡大による工事への影響

2. 当社の対応方針
 - (1) 経営の効率化
 - (2) 品質の向上
 - (3) シェアの拡大
 - (4) 新商品の開発

IV-2 経営概況

2. 当社の対応方針(つづき)

(5) 新規分野への進出

(6) 海外業務の拡大

3. 5か年計画の実現を目指す

グループ連結: 売上高1,100億円(国内800億円、海外300億円) 営業利益65億円



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。